

ウエイスト マネジメント

2013年(平成25年)11月25日

△山谷修作教授が
家庭ごみ有料化で講演



現状・成果・課題について講演した。

◆東洋大学
山谷教授は、有料化
は、ごみ減量・リサイ
クル推進の誘因、負担
の公平性の確保、ごみ
問題への関心の高ま
り、ごみ処理経費の削
減、手数料収益に活用
で意義があると指摘、
全国で約55%の都市が
有料化を行っている現
状を説明した。有料化
による減量効果につい
ては、2000年度以
来、家庭ごみ有料化の
同大学白山キャンパス
で3R研究発表会を開
催、当日は同大学経済
学部の山谷修作教授

市では、リバウンド効
果が見られず、手数料
水準が高いほど減量効
果が大きくなるとし
た。最後に、全国的に
はごみ量が減少し、3R
意識が高まっている
が、環境負荷の低減や

稀少資源の有効利用の
ために、さらなる3R
を推進する必要がある
と結んだ。